

【添付資料】

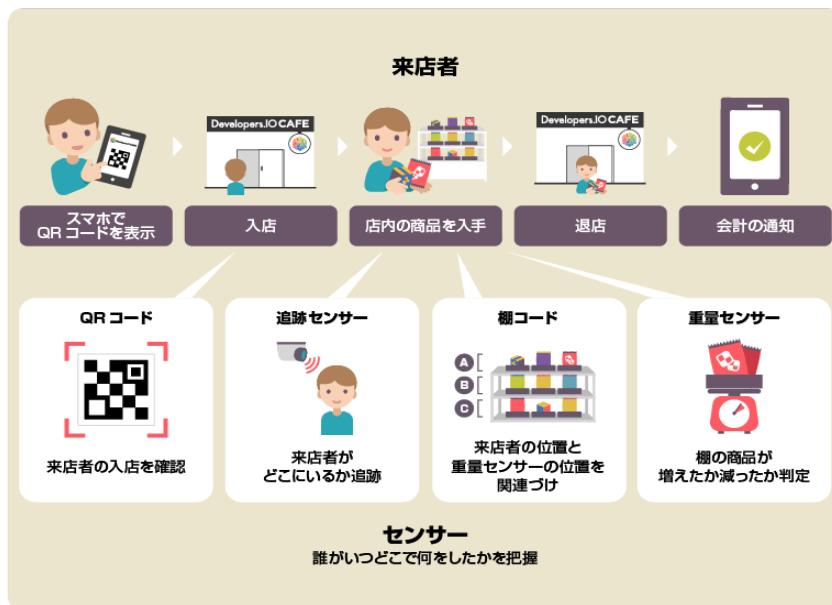
新潟県上越妙高駅前でコンテナ型スマートストアが限定オープン

～中部地方で初となる完全キャッシュレス、レジレスのウォークスルー型店舗～

ウォークスルー購入体験と実現技術について

ウォークスルー購入体験技術は、クラスメソッドが秋葉原で運営する Developers. IO CAFE での実証実験を経て開発したものです。

<ウォークスルー購入体験の流れ>



来店顧客は事前にスマホから Web ブラウザ、または LINE 経由でユーザ登録を行い、表示される QR コードを読み取り端末にかざして入店を行うだけで、店舗内での支払い操作は一切不要です。ウォークスルーは、スマホに表示される QR コードを店舗入口の端末にかざして入店して商品をピックアップし、そのまま退店するだけで完了します。ピックアップした商品の支払いは、退店後にスマホに届く会計通知を確認して承認することにより、事前に登録したクレジットカードまたは LINE Pay により決済されます。ユーザ登録時に、あらかじめ自動決済を設定しておけば、退店と同時に決済を済ませることも可能です。



この仕組みは、クラスメソッドが培ってきた IoT とモバイルアプリ開発、サーバーレス技術により実現しています。店舗の天井付近に取り付けた ToF 方式距離画像センサーによって顧客の店舗内での動線を取得し、各商品棚の重量センサーで商品の増減を検出しています。各センサーから収集された情報はクラウド上に集約され、顧客がピックアップした商品種数の特定と購入額の算出、請求が行われます。

ウォークスルーによる顧客体験および店舗運営のメリット

ウォークスルー決済では、レジ待ちの時間はなくなり、入店時の QR コード表示以外にはスマホ操作も不要になります。店舗での購買体験における待ち時間や小銭の取り出しなどのストレスを減らすことで、より良い店舗体験を提供することができるようになります。

店舗運営の面でも、現金の取り扱いや有人対応による接客コストを削減できるだけでなく、来店顧客の店舗内での商品検討の様子がオンラインショッピングと同様にマーケティング情報として収集することができるようになります。

店舗イメージ

